

# 地温計のデータ回収法

## Thermic データロガの取り出し

ALMA-J サイト調査コンテナの南側に設置されている地温計の銀色の箱から Thermic データロガを取り出す。この際、断熱用の発泡スチロールが風に飛ばされたり、地温計のセンサーケーブルを引っ張って地表面温度センサを動かしたりしないよう注意すること。

## FD へのデータのコピー

Thermic の communication ポートに通信ケーブルを介して Thermic Recorder Model 2120A を接続する。2120A を ON してフロッピーディスクを挿入し、POWER と OK の緑 LED の点灯を確認する。さらに、ディップスイッチの設定が、DATA が ASCII、NAME が TIME、CLEARMEM が ON、START が DATA>FD である事を確認し、右下の丸いボタンを押す。ACCESS が点滅し、エラーの LED が点灯せずに ACCESS が消灯し、POWER と OK の緑 LED が点灯したら、データ取り込みは成功である。

## 測定の再開

必要に応じて 2CR5 リチウム電池を交換し、MEASURE および MEMORY の液晶表示が現れるのを確認したら、Thermic を元通り発泡スチロールで断熱し、格納する。

## トラブル対処法

阪本成一 (seiichi@nro.nao.ac.jp、職場 : +81-422-34-3843、自宅 : +81-424-98-1572) に連絡する。

## 機器の状況

図 1 : ALMA-J サイト調査コンテナ A 棟に保管されている Themic Recorder Model 2120A。



以上